

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (283)

レーザー レーダー

夕食のあと、タモツ君のおばあさんがおじいさんと話しています。

「昔、中学校で教えていたとき、同じレーで始まる語なのに、レーザー光線のレーザーは laser、電波探知機のレーダーは radar だと、発言した子がいたわ。」

「おもしろい。日本語では l と r の区別をしないからね。」

「そのときは気づかなかったのですが、laser も radar も略語なのでしょう。」

「そう。laser は light amplification by stimulated emission of radiation の、radar は radio detecting and ranging の acronym だね。」

「レーザーは light の l の 1 字、レーダーは radio の ra の 2 字、頭字語というのだそうですけれど、必ずしも単語の頭文字^{かしら}だけを使うのではないのですね。」

「そう。前置詞が無視されたり接続詞の頭文字が使われたりもしている。」

radio detecting and ranging を単にアルファベットの頭文字だけとると、RDAR だ。このままではつづり読みはしにくいし、一字一字読むには少し長い。これを r の後ろに、母音である a を含むことで、略語がまるで元々一つの単語であったかのようになる。長い語句を略すことにはこんな工夫もあるんだね。



radio detecting and ranging

RDAR だと

initialism でも acronym でも読みづらい

rader だと

acronym として「レーダー」と読める